

第2次

牧之原市地域福祉計画・ 地域福祉活動計画

ふれあいを大切にした
生涯安心して
暮らすことのできるまちづくり

計画期間

平成26年度

▼
平成30年度
(5年間)

はじめに

牧之原市では平成 21 年に「ふれあいを大切にした生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」を基本理念とした「第 1 次牧之原市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

第 1 次計画の策定から 5 年が経過し、急速な少子化、核家族の増加、ライフスタイルの変化により地域でのつながりが希薄化し、社会情勢の影響から生活困窮世帯も増加しています。また、超高齢社会の到来により、医療、介護、福祉も地域の支えあいにより、出来る限り住み慣れた地域で暮らす地域包括ケアシステムの構築が求められています。

このような状況において、第 1 次計画の基本理念である「ふれあいを大切にした生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」を継承し、牧之原市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」と一体化した「第 2 次牧之原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

市民一人一人が地域の課題を知り、地域活動に参画していただくことが、自助、互助、共助、公助で連携を図ることにつながり、計画推進の要となります。今後、この計画をもとに、地域福祉の推進及び発展を目指してまいります。

結びに、計画策定にあたりまして、牧之原市地域福祉推進協議会及び地域福祉活動計画策定委員会の皆様方、地域座談会やアンケート調査にご協力いただいた市民・各団体・関係機関の皆様方に心より感謝申し上げますとともに厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

牧之原市長 西原 茂 樹

近年、少子高齢化の影響や不安定な社会情勢により地域を取り巻く環境は大きく変化しています。住民同士のつながりの希薄化が進み、区や町内会組織の運営への影響が懸念されています。また、地域福祉を支える人材も高齢化が進み、次世代の活動者の確保が急務となっています。

このような中、市民の福祉ニーズに応えるため、行政が策定する第 2 次牧之原市地域福祉計画と社会福祉協議会が策定する第 2 次牧之原市地域福祉活動計画の基本理念等を統一しました。

地域住民がお互いに支えあい、住民参加型の活動を発展させ、地域に定着することを目指すと同時に、生活困窮者（世帯）が増加傾向にあるため、平成 25 年 12 月に「生活困窮者自立支援法」が成立、支援を必要とされている方に行政や関係機関と連携して地域福祉を推進してまいります。

最後に、本計画の策定に関しまして、ご指導、ご協力をいただきました、作業部員の皆様をはじめ、地域住民の皆様方に多くのご意見をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会
会長 鈴木 保



目次

第1章 計画の概要	1
1 策定の趣旨	2
2 計画の位置づけ	3
3 計画の期間	4
第2章 地域福祉の現状と課題	5
1 牧之原市の現況	6
2 市民アンケート調査結果の概要	10
3 福祉専門職アンケート	12
4 牧之原市地域福祉計画・牧之原市地域福祉活動計画の評価	19
5 地域座談会	23
6 身近な福祉について語ろう	29
7 地域福祉を取り巻く課題のまとめ	30
第3章 基本理念・基本目標	39
1 基本理念	40
2 基本目標	40
3 計画の体系	42
第4章 地域福祉施策の展開	45
基本目標Ⅰ 安心して暮らすことができるまちづくり	46
基本目標Ⅱ 活動の輪を広げるまちづくり	60
基本目標Ⅲ 助け合い・支えあいの仕組みづくり	66
第5章 計画の推進体制	71
1 推進体制	72
2 進行管理・評価	72
資料編	75
用語集	76
策定経過	80
牧之原市地域福祉推進協議会・地域福祉活動計画策定委員会委員名簿	82
地域福祉活動計画作業部会部員名簿	83
牧之原市地域福祉推進協議会設置要綱	84
社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会設置要綱	85

